

3000坪の中規模物流拠点のニーズに最適。4階から5階の縦搬送では貨物用エレベーター（計4基）、垂直搬送機（計2基）を設置し、トラックベースと車路のない5階はより広くスペースを使える。



分割して賃貸可能

1クに対応。柱スパンは10・8m×10・5m、梁下有効は5・5m（4階の一部は5・4m）を確保している。プラットフォームは1・0mで、ドックレベラーは1〜4階に各5台ずつ、計20台を設置。トラックベースは128台（4t192台、10t128台）確保し、40ftコンテナ車にも対応



トラックベース

する。
ランプウエーは上りと下りを分け、トラック待機場は10台（10t車）、敷地内の駐車場113台（普通車106台、軽自動車5台、バス2台）、駐輪場149台（自転車133台、バイク16台）分を用意した。
環境面では、CASBE（建築環境総合性能評価システム）でAランクを取得予定。全館LED照明を採用し、屋上に太陽光パネルを設置する予定。
BCP対策としてキュービクル、発電機、受水槽の高さを浸水高さよりも高い位置に設置した。
非常用発電は災害時による停電時に72時間電源を供給可能で、受水槽は想定人員の3日分の水量を確保。隣接する旧江戸川沿いの「スーパード防計画」